

「父島周辺での目視調査結果について」

ザトウクジラの本格的なシーズンを迎え、ウェザーステーション展望台から行っている定点観測では、30分の観測で常に10頭以上のクジラを確認しています。

OWAでは、おがさわら丸のドック期間中である1月27日に、ザトウクジラが父島のまわりに、どれだけ生息しているのかを調べるための目視調査を実施しました。

下の地図のように、父島列島周辺に予め設定したコースを船が航行し、乗船した調査員が鯨類を探した結果、ザトウクジラ43群70頭、ハシナガイルカ1群30頭を発見しました。

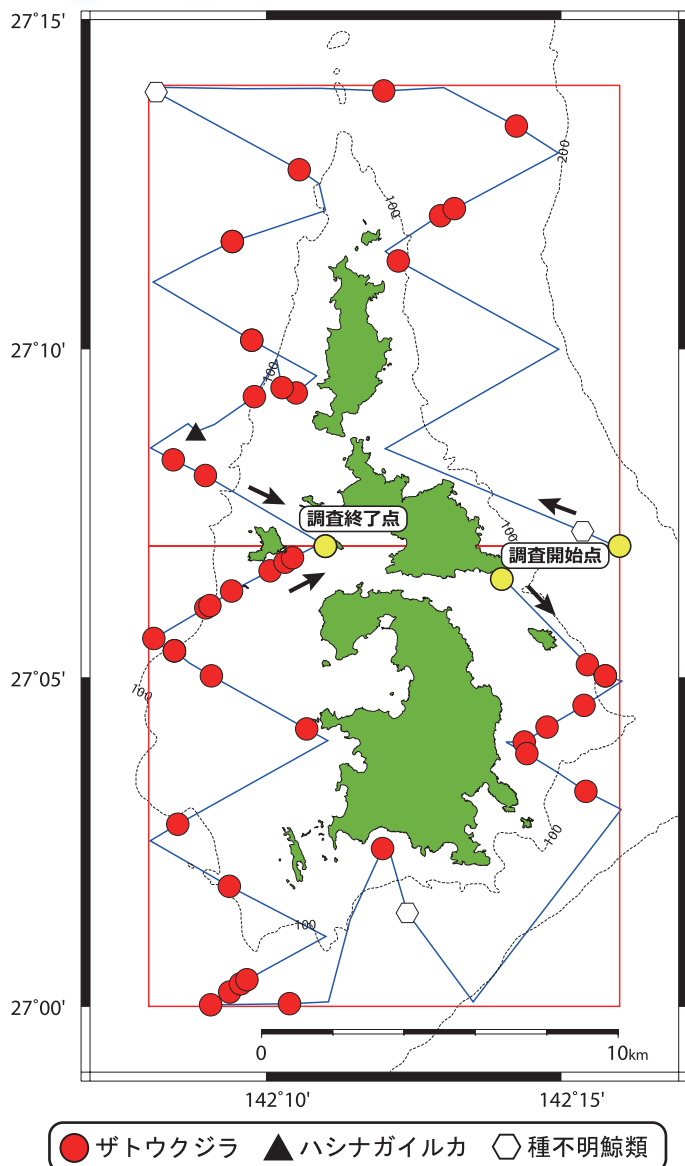


図1. 目視調査の航跡と鯨類の発見位置

過去に実施した調査同様、ザトウクジラの発見は西側で多い結果となったので、今後はザトウクジラ集中する水深帯や海底地形などを明らかにしたいと考えています。

また今年の調査では、同時に個体識別調査も実施し、全部で13頭を識別することができました。OWAでは小笠原に来遊するザトウクジラの生態を解明するため、ザトウクジラの尾ビレ個体識別データベースを作成中です。もしこのデータベース作成に賛同していただける方がいましたら、一度OWAまでご連絡ください。この事業により得られた情報は、皆様にフィードバックしていきますので、是非ご協力をお願いいたします。



図2. 調査中に撮影した尾ビレの写真

クジラの陸上観察会

2017年2月11日より、おがさわら丸入港日の夕方、ウェザーステーションで「クジラの陸上観察会」を開催しています。お時間のある方は、是非お越しください。みんなで展望台から一緒にクジラを探しましょう！！

場所: ウェザーステーション展望台

時間: 16時 17時 参加無料

※天候・海況不良や視界が悪い場合は実施致しません。

